

## 甲南大学人間科学研究所紀要「心の危機と臨床の知」 編集方針

- 一 本誌は甲南大学人間科学研究所の紀要であり、一年に一号を発行する。
- 二 本誌は原則として甲南大学人間科学研究所の兼任研究員、客員特別研究員、博士研究員の研究発表にあてる。
- 三 本誌に研究論文、書評、新刊・論文紹介の各欄を設ける。
- 四 本誌に投稿する論文等は、いずれも他に未発表のものに限る。
- 五 本誌の発行を目的として人間科学研究所内に編集委員会をおく。編集委員会は研究所長および二名の兼任研究員から構成される。
- 六 編集委員会は、投稿希望者から提出された内容のアブストラクトに基づき、執筆依頼について決定する。決定に際し、以下の二点に合致した論考等を優先的に採用するものとする。
  - (一) 甲南大学人間科学研究所において遂行中の研究プロジェクトに沿った内容であること。
  - (二) 本誌に原稿を掲載してのち一年以上を経過した執筆者によるものであること。
- 七 編集委員会は、投稿申し込みの採否に関し、人間科学研究所運営ミーティングにおいて報告する。

## 甲南大学人間科学研究所紀要「心の危機と臨床の知」 執筆要項

一 紀要に投稿を希望される方は、二〇〇字程度のアブストラクトを指定いたします期限までにご用意ください。おかげさまで、毎年多数の応募をいただいております。そのため、紙面の都合上、やむなく掲載を見送らせていただく場合がございます。審査基準として以下の点をご了承ください。

(一) 甲南大学人間科学研究所の研究プロジェクトに沿った内容の論考を優先させていただきます。

(二) 二年連続の投稿は、原則としてお断りさせていただいております。研究プロジェクトの内容と関連する場合は、この限りではありません。

二 甲南大学人間科学研究所の共同研究プロジェクトに関する未発表の研究論文、書評、新刊・論文紹介を、甲南大学人間科学研究所紀要『心の危機と臨床の知』および甲南大学機関リポジトリに掲載します。

\* 臨床事例を扱う場合は、プライバシーへの格別のご配慮をお願いいたします。

三 寄稿は原則として、当研究所兼任研究員、客員特別研究員、博士研究員に限りま。

四 使用言語は、原則として日本語もしくは英語とします。その他の言語での投稿をご希望の場合は、研究所にご相談願います。

五 論文：日本語…三六字×三五行 一枚〜一七枚、英語…四〇〇〇語〜六〇〇〇語  
書評：(日本語のみ) 三六字×三五行 三枚程度

六 新刊・論文紹介：(日本語のみ) 三六字×三五行 一枚程度

七 体裁：A5版、縦書き…縦二段組み(二八字×二二行×二段)横書き…横一段組(三六字×三五行)、予定

\* 日本語で横書きをご希望の場合、その旨指定ください。指定のない場合は縦書きとします。

\* 図版、表などの掲載をご希望の場合、あらかじめ研究所にご相談願います。

八 原稿は、プリントアウトしたもの一部と、電子メールもしくはCDにてデータを提出してください。

\* CDには、氏名・使用ソフト・OSを明記してください。

九 執筆者による校正は二回の予定です。

十 論文執筆者には掲載誌二部および別刷三〇部を進呈します。

原稿締め切り九月三〇日(必着)

送付先 〒六五八―八五〇―一 神戸市東灘区岡本八―九―一 甲南大学人間科学研究所

電話・FAX 〇七八(四三五)二六八三

電子メール [kjhs@konan-u.ac.jp](mailto:kjhs@konan-u.ac.jp)

附則二〇一七年一月一三日人間科学研究所運営委員会改訂  
附則二〇一九年五月二日人間科学研究所運営委員会改訂